

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 拠点-03周辺整備事業 <input type="checkbox"/> 支援部門							
主管課	大船駅周辺整備課	関連課	各部各課					
分野名	市街地整備							
目標 (目標値)	大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想及び基本計画(案)に基づき、大東橋周辺地区・鎌倉芸術館周辺地区・大船駅南部地区について、地区ごとの特色あるまちづくりを推進するため、地区計画の決定及び景観法に基づく特定地区の指定を目指す。							
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考			
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源状況	事業の対象者数							
	決算値(千円)	25,108千円	24,843千円	1,093千円				
	(国・県)							
	(負担金等)	488千円						
	(一般財源)	24,620千円	24,843千円	1,093千円				
	人員配置数	2.0人	2.5人	2.5人				
	人件費(千円)	17,624千円	24,116千円	25,474千円				
協働のパートナー	鎌倉芸術館周辺地区・大船駅南部地区まちづくり協議会、砂押川プロムナード桜愛護会、鎌倉女子大学		鎌倉芸術館周辺地区・大船駅南部地区まちづくり協議会、砂押川プロムナード桜愛護会、鎌倉女子大学		鎌倉芸術館周辺地区・大船駅南部地区まちづくり協議会、砂押川プロムナード桜愛護会、鎌倉女子大学			
事務事業運営経費	総事業費(千円)	42,732千円	48,959千円	26,567千円				
	市民1人当りの経費(円)	241円	277円	151円				
	対象者1人当りの経費(円)							
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名							
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)	
まちづくりルールの制定	△	目標値	2地区・5制度	3地区・6制度	3地区・6制度	3地区・6制度	3地区・8制度	
		実績値	2地区・3制度	2地区・3制度				

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
周辺整備事業	22,739千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	大船駅東口バリアフリー化に向けた詳細設計を実施、大東橋北側市街地整備用地に照明灯を設置、砂押川沿い桜保全再生計画に基づく、住民主体の保全再生活動を支援		
周辺整備運営事業	2,369千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	鎌倉芸術館周辺地区及び大船駅南部地区まちづくり協議会を運営		
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	横浜・鎌倉両市に跨る駅周辺の再開発事業等の進捗状況等を見定め、神奈川県・横浜市と連携し、計画的な都市整備を進め、バランスの取れたまちづくりを進める必要がある。			
課題解決のための取組	大船駅東口のバリアフリー化について、関係機関等との協議を進め、平成24年度の供用開始を目指し平成22年度に詳細設計を実施した。			
未解決の課題	本市及び横浜市側の再開発事業等の進捗遅延のため、都市整備の実現に向けた対応が遅れている。			
今後の方針	横浜・鎌倉両市の駅再開発等の状況を見据え、駅直近の基盤整備の具体化について関係者と調整を図っていく。			
今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了 課長名 課長代理 藤木 修

個別事業の概要

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果	
周辺整備事業	主な個別事業	1,038 鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援業務専門員報償費	120	48	■適切	□見直し余地あり
		1,038 鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援業務用消耗品費	227	117	□適切	■見直し余地あり
		1,038 鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援樹木管理委託料	300	236	■適切	□見直し余地あり
		1,038 大東橋北側市街地整備用地工事請負費	1,500	1,302	■適切	□見直し余地あり
		1,038 大船駅東口エレベーター等設計業務負担金	30,000	21,036	■適切	□見直し余地あり
周辺整備運営事業	主な個別事業	1,116 まちづくり協議会専門委員報償費	216	96	■適切	□見直し余地あり
		1,116 まちづくり協議会等消耗品費	276	154	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり